

まなびのコース

まなびのコース(まなびの講座)



託児付

「託児付講座」も用意しました。原則2歳6ヵ月以上の未就学児をお預かりしますので、子育て中のお母さん方の参加をお待ちしています。



一般募集なし

の表示の講座は、区民カレッジ生で定員数となりましたので、一般の募集はありません。

まなびの講座 ①-1

一般募集 なし

魚市場セミナー〈春・秋期〉

託児付

主題 魚市場で働く魚の専門家（東卸組合広報文化委員会協力）による、魚のさばき方の実習を中心に、市場のしくみや旬の魚の講義、早朝市場見学を組み入れた年間10回の体験的講座です。5月から11月まで、毎回季節の旬の魚を取り上げ、その魚についての講義と扱い方やさばき方、簡単な調理の実習を行います。後半には大型の魚を1尾さばくところまで進みます。

協力 東京魚市場卸協同組合広報文化委員会

※過去に受講した方は申し込みできません。

講座番号 ①-1

期 間 5月～11月
 時 間 午後2時～4時
 場 所 築地社会教育会館
 回 数 10回
 受講料 3,000円
 材料費 7,000円
 定 員 32名

回数	日程	主 題	内 容	講 師
第1回	5/21(木)	講 義	中央卸売市場について	東京魚市場卸協同組合広報文化委員
第2回	6/ 4(木)	見 学	午前5：00より中央卸売市場早朝見学	
第3回	6/18(木)	実 習	毎回季節の魚をとりあげ、その魚についての話、さばき方などの実習を行います。	
第4回	7/ 2(木)	実 習		
第5回	7/16(木)	実 習		
第6回	9/24(木)	実 習		
第7回	10/ 8(木)	実 習		
第8回	10/22(木)	実 習		
第9回	11/ 5(木)	実 習		
第10回	11/19(木)	まとめ	全体を通しての質疑応答などを行います。	

東京魚市場卸協同組合広報文化委員会委員紹介

役 職	氏 名	記 号
委 員 長	安藤 健司	富士恭
副 委 員 長	飯田 統規	樋 長
副 委 員 長	島津 修	シマツ
委 員	大八木勝男	鈴角米勝
委 員	亀谷 直秀	亀 谷
委 員	宮上 和人	山 二
委 員	栗原 豊	越 虎
委 員	山崎 雅	山 忠
委 員	北沢 光雄	北 沢
委 員	北田喜之助	北田本店
委 員	山口 寛純	伊勢糸
委 員	山崎 康弘	山 治

絵本読み聞かせ講座 〈実践編〉



主題 昨年秋に実施した「子どもと大人を楽しくつなぐ～絵本読み聞かせ講座」は、最終回には「おはなし会」や受講生同士のランチ交流会も行って好評のうちに終了しました。

今回は、これから読み聞かせのボランティアを始めたい人に向けての、〈実践編〉です。絵本の読み聞かせだけでなく、手遊びやわらべうたなど実践に役立つ実習もあります。最終回には子ども達に呼びかけて「おはなし会」を予定しています。最終回の「大おはなし会」の企画や出し物をグループで相談して実施するなど、まなび合いの講座です。

地域で活動する読み聞かせボランティアの支援を考えている中央区の図書館と連携して実施します。

講師・コーディネーター：後路 好章（大学講師）

講座番号 ①-2

期 間 5月～7月

時 間 午前10時～12時

※8回目は午後1時～3時（予定）

会場は月島社会教育会館ホール

場 所 日本橋図書館

回 数 8回

受講料 2,400円

定 員 40名

回数	日程	講義内容	講師
第1回	5/14(木)	読み聞かせのキーワード	後路 好章
第2回	5/21(木)	絵本の選び方・読み聞かせ方—保育現場の実践	二瓶 保
第3回	6/ 4(木)	手遊び・うたあそび	後路 好章 図書館員
第4回	6/11(木)	絵本にのせるメッセージ	ひろかわさえこ
第5回	6/18(木)	わたしと読書ボランティア	佐々木 伸衣
第6回	7/ 2(木)	子どもとお母さんのわらべ唄遊び	小林 衛己子
第7回	7/ 9(木)	すてきな紙芝居の世界—その秘密と演じ方—	松井 エイコ
第8回	7/18(土)	みんなで作った“おはなし会”	後路 好章

講師紹介

後路 好章（うしろ よしあき／大学講師）

白鷗大学・星美学園短期大学・明星大学講師。元アリス館編集長。国語教科書編集委員（三省堂）。赤ちゃん絵本研究代表。乳幼児精神保健学会会員。著書に『絵本から擬音語擬態語がちがちぼーん』『もうわらった』『うまれるよ うまれるよ』『おじいちゃんとおひさまを見たよ』他多数。

二瓶 保（にへい たもつ／葛飾区公立保育園園長）

保育士歴25年、現在葛飾区南新宿保育園園長。地域向けおはなしボランティア「はこべの会」主催。絵本の研究会「えほんの会」代表。著書『しらないひとにきをつけて』『いかのおすし』『はたらいしているみなさんありがとう』『はかばへいくむすめ』（いずれも紙芝居）

ひろかわ さえこ（絵本作家）

北海道生まれ。武蔵野美術大学商業デザイン科卒業。文具のデザイナーを経て児童書の世界に入る。児童出版美術家連盟会員。絵本に『かばくんのいちにち』『ぶくちゃんのおてきなばんつ』『ともだちになろうよ』他。詩画集『きこえてくるよ…いのちのおと』紙芝居に『ごろん』『くねくねゆらゆら』他多数。

佐々木 伸衣（ささき のぶよ／鷺宮町教育委員）

埼玉在住。未就園児子育てサロン、幼稚園、小学校にて読み語りボランティア。中学校総合授業のゲストティーチャー。「この本だいすきの会」「こどもの本WAVE」「語り手たちの会」「日本文学教育連盟」会員。県立図書館子ども読書支援ボランティア。町立桜田小学校「さくらんぼ本の会」代表。

小林 衛己子（こばやし えみこ／わらべうた保育研究会主宰）

福島県生まれ。東洋大学文学部哲学科卒。33歳でときわ平幼児教室に勤務。保育に絵本の読み聞かせとわらべうたを取り入れる。1993年、当教室に0～2歳児の親子の遊び講座を開講。育児や遊びの指導にあたる。編著書に『あかちゃんとお母さんのあそびうたえほん』『あかちゃんのおきげんがよくなる12のわらべうたえほん』『ととけっこうよがあけた』『まてまてまて』他多数。

松井 エイコ（まつい えいこ／壁画家、紙芝居作家）

「人間」をテーマとする壁画を各地に130作余創作。紙芝居作品に『かずとわたしのファンタジー』、平和紙芝居『二度と』、『二度と』がミュンヘン国際児童図書館企画「平和と寛容のための図書館展」に選ばれ、世界を巡回。フランス、ドイツなどで講演。紙芝居文化の会。

銀座の画廊へのご招待

講座番号 ①-3

主題 銀座には多くの画廊が点在し、街の一つの魅力になっています。皆さんはシャンパンやワイン片手に初夏の心地よい風に吹かれて画廊めぐりができる特別な一夜「銀座の夜会」をご存知ですか？

この講座は、普段敷居が高くてなかなか足を運ばない「銀座の画廊」へご招待いたします。画廊へ初めて行かれる方に画廊との上手なつきあい方や美術品の楽しみ方をお教えします。特別な一夜「銀座の夜会」にも参加し、画廊の魅力に触れてください。

企画協力 (株)銀座柳画廊副社長 野呂 洋子



期 間 5月～7月
時 間 午後6時30分～8時
 ※6/27(土)は午後2時～4時
場 所 築地社会教育会館
 ※第1・2・4回は銀座柳画廊集合
回 数 5回受講料
受講料 1,500円
定 員 30名

回数	日程	講義内容	講師
第1回	5/15(金)	銀座の画廊へのご招待～初めて画廊へ行かれる方へ～	野呂 洋子
第2回	5/29(金)	ようこそ夜会へ 画廊めぐり	野呂 洋子
第3回	6/12(金)	美術品の楽しみ方	小谷野 匡子
第4回	6/27(土)	画廊めぐり	野呂 洋子
第5回	7/10(金)	銀座の画廊の未来	山本 豊津 野呂 好彦

講師紹介

野呂 洋子 (のろ ようこ／銀座柳画廊 副社長
札幌市立大学 非常勤講師)

1964年生まれ。慶応義塾大学管理工学科卒業。IBMのエンジニアとして働いた後、銀座柳画廊を野呂好彦氏と立ち上げる。著書に「銀座の画廊経営」ファーストプレス社。

山本 豊津 (やまもと ほづ／東京画廊 代表取締役)

1948年生まれ。武蔵野美術大学造形学部建築学科卒業。1973年 元大蔵大臣村山達雄秘書。1979東京画廊入社。日本の古典的表現の発掘・再発見や銀座の街づくりなどの多くのプロジェクトに参加している。

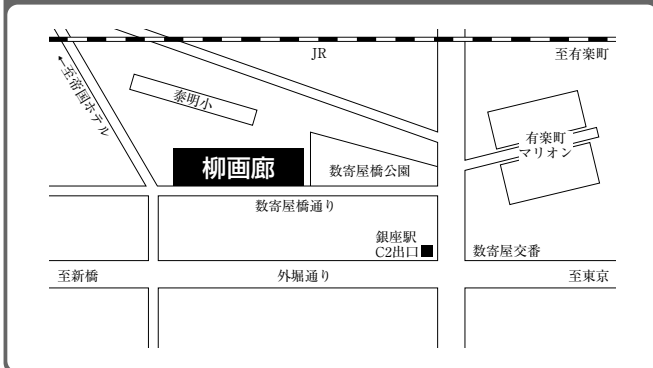
野呂 好彦 (のろ よしひこ／銀座柳画廊 代表取締役)

1963年生まれ。同志社大学卒。梅田画廊の3代目。ギャラリーためなが東京店、パリ店を経験し、梅田画廊銀座サロン店長を歴任。1993年に野呂洋子と銀座柳画廊を創業し、代表取締役社長となる。

小谷野 匡子 (こやの まさこ／絵画保存研究所代表取締役)

1935年生まれ。東京芸術大学芸術学部芸術学科卒。ロックフェラー3世基金をえてニューヨーク大学に留学。藤田の修復に関しては、世界的な評価を得ている。

会場図



中央区銀座5-1-7 数寄屋橋ビル3階
☎03-3573-7075

古文書から読む中央区

主題 この講座は、郷土天文館（タイムドーム明石）が所蔵する古文書を用いて、中央区の歴史を学ぶことを目的にしています。くずし字にはじめて接する方を対象に古文書を読むために必要な基礎知識やコツを詳しく解説します。

テキストは古文書の写真版を印刷したものを使用します。実際にくずし字に触れてみましょう。

最後に、中央区総括文化財調査指導員の野口孝一氏が、長年の経験をもとにした中央区内の古文書調査のお話をします。

講座番号 ①-4

期 間 5月～7月
時 間 午後6時30分～8時
場 所 築地社会教育会館
回 数 5回
受講料 1,500円
定 員 30名

回数	日程	講義内容	講師
第1回	5/19(火)	『江戸名所図会』を読む	清水 聡
第2回	6/ 2(火)	町奉行与力原胤昭文書を読む1	清水 聡
第3回	6/16(火)	町奉行与力原胤昭文書を読む2	清水 聡
第4回	6/30(火)	日本橋紙問屋服部家文書を読む	清水 聡
第5回	7/14(火)	中央区内の古文書調査をふりかえって	野口 孝一

講師紹介

清水 聡 (しみず さとし/中央区文化財調査指導員)

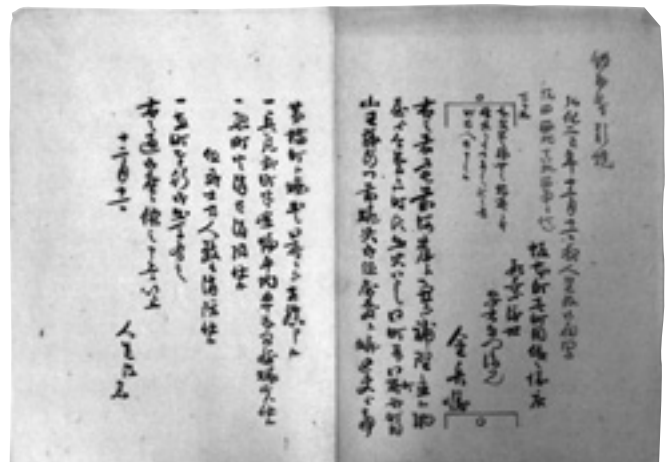
立正大学大学院博士後期過程単位取得。徳川林政史研究所非常勤研究生。平成16年より中央区文化財調査指導員。専門は日本近世史。区内に残された古文書等を通して、中央区の歴史についての調査をしている。主な論文に「加賀藩牛込邸上地一件」（『都市江戸への歴史視座』所収）など。

野口 孝一 (のぐち こういち/中央区総括文化財調査指導員)

東京都立大学大学院修士課程修了。「中央区史」「同三十年史」の編纂に参加、平成5年より中央区文化財調査指導員。専門は近代都市史。中央区の広報に「区内散歩」を連載し、中央区の歴史や中央区出身の人物を紹介している。著書に『日本橋－東京の経済史』『銀座物語』『明治の銀座職人話』などがある。



「原胤昭関係文書」（中央区立郷土天文館所蔵）



「原胤昭関係文書」（中央区立郷土天文館所蔵）

まなびの講座 ①-5 一般募集 20名

海外事情「中国」

主題 中国をどのように理解するかは、いまや日本だけの問題ではありません。世界の人類が直面している諸課題、食料、エネルギー、環境、貧困、戦争、民族紛争などについて、十数億になろうかという人口を抱える中国の存在を無視して世界を語ることほど無意味なことはありません。しかし、その中国は国土も広く、歴史も古く、社会階層も複雑で、理解することも容易ではありません。今回は、いくつかのテーマに即して、その分野の第一人者の方にわかりやすく話をさせていただきます。それを通して、中国の今と今に至る歴史、中国のすがたを考えてみることにします。

企画協力：早稲田大学教授 稲畑 耕一郎

講座番号 ①-5

期 間 5月～7月
 時 間 6時30分～8時
 場 所 築地社会教育会館
 回 数 8回
 受講料 2,400円
 定 員 60名

回数	日程	講義内容	講師
第1回	5/21(木)	中国を知ること	稲畑 耕一郎
第2回	5/28(木)	中国政治のゆくえ	高橋 伸夫
第3回	6/ 4(木)	現代中国の都市文化	千野 拓政
第4回	6/11(木)	法と現代中国社会	小口 彦太
第5回	6/18(木)	中国の都市の環境	尾島 俊雄
第6回	6/25(木)	多民族国家としての中国	金丸 良子
第7回	7/ 2(木)	台湾社会と台湾からみた大陸	森 保裕
第8回	7/ 9(木)	アジアのなかの日本と中国	信太 謙三

講師紹介

稲畑 耕一郎 (いなはた こういちろう)

早稲田大学教授、中国古籍文化研究所所長、北京大学中国古文書研究センター兼職教授。
 専門は中国古代学。著書に『皇帝たちの中国史—連鎖する「大一統」』（中央公論新社）、『中国五千年史地図年表』（集英社）、『神と人の交響—中国仮面の世界』（農文協）、『境域を超えて—私の陳舜臣論—』（創元社）監修に『図説中国文明史』（全十巻）（創元社）などの他、数多くの中国文物展の監修を手がける。

尾島 俊雄 (おじま としお)

早稲田大学名誉教授、中国浙江大学・同済大学顧問教授、(社)都市環境エネルギー協会理事長、(財)建築保全センター理事長、日本景観学会会長。
 2008年日本建築学会大賞、大隈記念学術賞受賞。東京大学客員教授、早稲田大学理工学部長、元日本建築学会会長、日本学術会議会員などを歴任。著書：『絵になる都市づくり』『ヒートアイランド』『都市環境学』『この都市のまほろば』Vol.1～4など多数。

高橋 伸夫 (たかはし のぶお)

慶應義塾大学法学部教授、法学博士。慶應義塾大学現代中国研究センター副代表。『アジア研究』編集委員長。
 専門は現代中国政治史。主な著書に、『中国革命と国際環境』（慶應大学出版会）、『党と農民』（研文出版）、『現代アジア研究 2市民社会』（共編、慶應大学出版会）など。

金丸 良子 (かなまる よしこ)

麗澤大学教授（中国民族文化担当）、早稲田大学文学学術院非常勤講師（中国比較文化論担当）。博士（文学／岡山大学）。
 主な著書に『中国山東民俗誌』『中国少数民族ミャオ族の生業形態』『中国少数民族事典』など。

千野 拓政 (せんの たくまさ)

早稲田大学文学学術院教授、中国現代文学・文化研究所所長。
 専門は中国近現代文学・文化。主な著書に『囚われた文学者たち—毛沢東と胡風事件』（岩波書店）、『規範からの離脱』（山川出版社）、『麗娃河畔論文学』（華東師範大学出版社）などがある。

森 保裕 (もり やすひろ)

共同通信社編集論説委員・元中国総局長。
 共同通信の北京特派員（91年8月～95年10月）から北京支局長、中国総局長（98年8月～2001年8月）、台北支局長（05年4月～08年3月）。この間、中国報道研究会事務局長などを兼務し、現在は編集論説委員として、主に中国台湾問題を担当している。

小口 彦太 (こぐち ひこた)

早稲田大学法務研究科・法学学術院併任教授、法学博士。現代中国法研究所所長。
 専門は中国憲法、刑事法、契約法、不法行為法。著書に『中国の裁判と法』（単著）、『現代中国法』（共著）、『唐令拾遺補』（共著）など。

信太 謙三 (しだ けんぞう)

東洋大学社会学部教授。
 時事通信社の北京特派員、香港特派員、北京支局長、上海支局長などを歴任、この間、優れた中国報道によって96年度ボーン・上田国際記者賞を受賞。著書『巨龍のかたち・甦る大中華の遺伝子』（時事通信社）『中国ビジネス 光と闇』（平凡社新書）編著『日本の常識は中国の非常識』（時事通信社）など。

文化財からみる中央区の歴史(生涯学習基礎講座)

主題 中央区は、江戸時代以来わが国の文化・経済の中心として発展してきた地域であり、有形・無形の文化遺産を数多く有しています。

この講座は、中央区の文化的・歴史的価値を発見し保護・活用に努めている郷土天文館(タイムドーム明石)の協力を得て、文化財から中央区の歴史を紐解きます。

館長をはじめ、文化財の専門家や文化財調査指導員がそれぞれの立場から講義を行います。

講座番号 ①-6

期 間 5月～7月
時 間 午後2時～4時
場 所 教育センター視聴覚ホール
回 数 5回
受講料 1,500円
定 員 60名

回数	日程	講義内容	講師
第1回	5/27(水)	江戸東京学の中の中央区	陣内 秀信
第2回	6/10(水)	文献資料にみる銀座	野口 孝一
第3回	6/24(水)	盆踊の魅力ー佃の盆踊	平野 英俊
第4回	7/ 8(水)	絵図面から読み解く日本橋魚河岸	増山 一成
第5回	7/22(水)	中央区の遺跡発掘最前線Ⅱ	仲光 克顕

講師紹介

陣内 秀信 (じんない ひでのぶ/法政大学教授、中央区立郷土天文館館長)

福岡県生まれ。東京大学大学院工学系研究科修了、工学博士。専門はイタリア建築史・都市史。サントリー学芸賞、建築史学会賞、イタリア共和国功労勲章など受賞。主な著書に『水辺都市ー江戸東京のウォーターフロント探検』『ヴェネツィアー水上の迷宮都市』など多数。

野口 孝一 (のぐち こういち/中央区総括文化財調査指導員)

東京都立大学大学院修士課程修了。「中央区史」「同三十年史」の編纂に参加、平成5年より中央区文化財調査指導員。専門は近代都市史。中央区の広報に「区内散歩」を連載し、中央区の歴史や中央区出身の人物を紹介している。著書に『日本橋ー東京の経済史』『銀座物語』『明治の銀座職人話』などがある。

仲光 克顕 (なかみつ かつあき/中央区主任文化財調査指導員)

立正大学大学院修士課程修了(考古学)。学生時代から新宿・墨田・千代田区等江戸遺跡の調査に従事。平成12年より中央区文化財調査指導員に。主な研究テーマは、江戸遺跡の中でも町屋、泥面子の研究。『日本橋一丁目遺跡』ほか報告書多数執筆。「掘り出された築地外国人居留地」「江戸の町屋の上下水」「江戸、日本橋における町屋の様相」など論文。

平野 英俊 (ひらの ひでとし/文部科学省文化審議会第4専門委員)

早稲田大学第一文学部演劇専修卒業。(社)日本舞踊協会事務局員を経て、昭和51年(株)邦楽と舞踊出版社編集長。退社後は、評論活動に入り、「日本舞踊入門」「日本舞踊鑑賞入門」「日本舞踊曲集成」全3巻「伝統芸能にふれよう」「歌舞伎の基礎知識」の編纂等にあたる。平成7年(社)全国公立文化施設協会の芸術情報プラザのアドバイザーとなり、日本のアーツマネジメントから指導助言を行う。現在は舞踊評論家、伝統芸能全般の評論活動。

増山 一成 (ましまやま かずしげ/中央区主任文化財調査指導員)

法政大学大学院修士課程修了。法政大学文学部博物館学研究室の助手を経て、中央区立郷土天文館に勤務。専門は博物館学、民俗学。文化財や民俗芸能の記録保存に関わる中で制作した映像「佃島の盆踊」や大正時代の震災フィルムを調査分析して復元した「関東大震災記録映像」がある。膨大な博覧会資料を基に制作した歴史映像「幻の万国博覧会」は、最近の作品。

会場図



中央区明石町12-1(郷土天文館と同じ建物の5階)

地域を学ぶ「八丁堀・新川」- 亀島川の再生とまちづくり -



主題 八丁堀・新川地区は江戸時代の初期から幕府経済の玄関口であり、市民の生活と文化を支える重要な拠点でした。隣接する茅場町と併せて水路が縦横に巡り、江戸湊から小運搬する舟の往来が盛んで、荷揚げを受ける問屋や倉庫が建ち並び賑やかな街でした。その重要な役割を果たした水路のひとつが亀島川ですが、その後の利用法もなかったことが幸いしてか今も残っている貴重な水路です。

今回の地域を学ぶシリーズは、参画型の講座です。仲間と一緒にフィールドワークやグループワークを通して課題を深め、自分たちの考えや思い、新しい発見をプレゼンテーションする方法も学びます。

水辺の再生とまちづくりをあなたも提案してみませんか？

コーディネーター：阿部 彰（建築家、都市環境プランナー）

講座番号 ①-7

期 間 5月～8月
時 間 午後2時～4時
場 所 築地社会教育会館ほか
回 数 6回
受講料 1,800円
材料費 2,000円程度
 (乗船料含む)
定 員 20名

回数	日程	講義内容	講師
第1回	5/28(木)	オリエンテーション、亀島川を基点とした舟運復活の可能性	阿部 彰
第2回	6/11(木)	新川のお堀端を掘る	仲光 克顕
第3回	6/25(木)	八丁堀・新川の今昔そして未来～亀島川に船を乗り入れて	高松 巖
第4回	7/ 9(木)	グループワーク ～課題を深めよう	建築家・ 都市環境プランナー
第5回	7/23(木)	グループワーク ～プレゼンテーションを準備しよう	建築家・ 都市環境プランナー
第6回	8/ 6(木)	発表会	阿部 彰

講師紹介

阿部 彰 (あべ あきら/建築家、都市環境プランナー)

東京都生まれ、新川在住。千葉大学工学部建築学科卒業、現在 法政大学大学院工コ地域デザイン研究所兼任研究員、日本橋川・亀島川流域連絡会副座長、水辺空間とまちの再生研究会主宰。都心の水辺再生の鍵は亀島川の再生にあると位置づけ、水上交通システムの復活と周辺の街づくりについて高松巖氏と協同して独自の考えを提唱している。

高松 巖 (たかまつ いわお/八丁堀8代目)

東京都八丁堀生まれ、八丁堀在住。地元小中学校をへて東京教育大学文学部卒業、現在 東京都公園協会公益水辺事業部長、法政大学大学院工コ地域デザイン研究所兼任研究員、元東京都港湾局臨海開発部長、観光部長。都庁時代は主にまちづくりを担当。地元の再生のためには亀島川の活用が重要であることで阿部彰氏と共感し、提言をしている。

仲光 克顕 (なかみつ かつあき/中央区主任文化財調査指導員)

立正大学大学院修士課程修了(考古学)。学生時代から新宿・墨田・千代田区等江戸遺跡の調査に従事。平成12年より中央区文化財調査指導員に。主な研究テーマは、江戸遺跡の中でも町屋、泥面子の研究。『日本橋一丁目遺跡』ほか報告書多数執筆。「掘り出された築地外国人居留地」「江戸の町屋の上下水」「江戸、日本橋における町屋の様相」など論文。

建築家・都市環境プランナー

グループワークではコーディネーターの阿部彰氏に加えて、社団法人日本建築家協会関東甲信越支部中央地区会に所属する専門家(建築家やプランナー)にサポートして貰い、提案の纏め方やプレゼンテーションの方法を学ぶ。

「人物像からの数学入門—数学を作った天才たちの情熱と狂気と気魄—」

主題 今回は数学者の人間像から入って、関連する数学の話をしてみようと思います。そこには信じられないような天才たちがいて、その情熱と気魄には圧倒されてしまいます。時には天才と隣り合わせの狂気も見られます。20歳で決闘で死んだ人もいれば、栄光に包まれて84歳まで生きた人もいます。不安定な収入に苦しみながら何人もの弟妹の面倒を見てきた27歳の青年のもとに、ベルリン大学からの招聘状が届いたのは病気で死んだ4日後だったという悲しいドラマもあります。こんな様々なロマンやドラマを追いながら、数学へのゆるやかな入門となることを目指します。

講座番号 ①-8

期 間 6月～7月
 時 間 午後6時30分
 ～8時30分
 場 所 築地社会教育会館
 回 数 5回
 受講料 1,500円
 定 員 40名

回数	日程	講義内容	講師
第1回	6/ 5(金)	デカルトとパスカルー代数記号の完成、数学的帰納法の発明	中村 滋
第2回	6/19(金)	ニュートンとライプニッツーこれぞ“天才”、微分積分学の構築	
第3回	7/ 3(金)	オイラーとラグランジュー数学の記法の完成と若き後継者	
第4回	7/17(金)	アーベルとガロアー薄幸の数学者と狂気的情熱	
第5回	7/31(金)	ガウスとリーマンー数学の王者と現代数学を開いた病弱の天才	

講師紹介

中村 滋 (なかむら しげる/東京海洋大学名誉教授/学習院大学非常勤講師)

1943年3月生まれ。1967年東京大学大学院理学系研究科修士課程修了。1967年～2006年東京商船大学(現東京海洋大学)で数学を教える。

現在、東京海洋大学名誉教授、学習院大学非常勤講師、朝日カルチャーセンター講師、中央区民カレッジ講師、日本フィボナッチ協会代表、数学教育の会の常連。

長く東京商船大学山岳部部長をつとめ、学生達と山行多数。また、50歳代からコーラスを始め、ヘンデル「メサイア」、バッハ「クリスマス・オラトリオ」、同「ヨハネ受難曲」等を歌う(テノール)。

著書 『ギリシア世界からローマへー 転換の諸相』(地中海文化を語る会編(共著)、彩流社、2001年)、『フィボナッチ数の小宇宙ーフィボナッチ数、リュカ数、黄金分割』(日本評論社、2002年、改訂版2008年)、『ギリシア・ローマ世界における他者』(地中海文化を語る会編(共著)、彩流社、2003年)、『微分積分学21講』(東京図書、2008年)、『数学の花束』(岩波書店、2008年)

